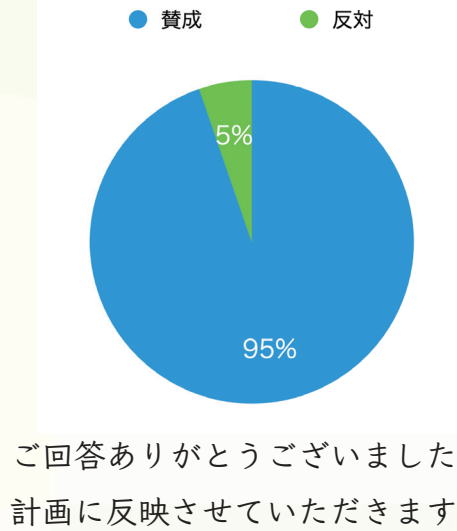


青松殿 建設アンケート結果

アンケート総数 743
 賛成 704
 反対 39
 賛成率 94.7%

新規利用の検討者数
 G型 16人
 H型 51人
 J型 60人
 K型 23人 計 150人



建設委員会を発足しました

会の目的：大心堂に代わる新納骨堂「青松殿」の建設

会の権限：資金計画 指名競争入札の実施

会員の構成：総代1名・秋田勝利氏（檀家・永祥寺会計役）

岩崎武史（檀家・寺務長・責任役員）織田秀道（代表役員）

同委員会が建設計画をまとめて総代会に議案として提出し、建設の実行・延期の最終決定は総代会が行います。

総代の就任

新総代として当寺檀家小澤良貞氏に就任していただきました。永祥寺が檀家様の心の拠りどころとなり、未長く必要とされる場所となりますようご意見ご協力をお願いいたします。

総代の役割

総代とは檀家の代表者として寺院運営に関わる方々です。「財産の取得や処分」「年会費の変更」といった重要案件は必ず総代会に審議していただきます。

春彼岸 納骨堂を閉める時間

三月十七日から二十三日の間は延長して午後七時になります。普段なかなか来られない方もぜひお参りください。

お供えものを下げる日

三月二十三日の午後五時までに持ち帰りください。翌朝か翌々朝に廃棄作業を行います。

直葬（葬儀をしない）や無宗教告別式をおこなった場合 永祥寺の納骨堂に納骨できるか

当寺の檀家である方が直葬（葬儀をしないこと）や無宗教告別式をして無断で納骨堂に納骨した場合は大変心苦しい限りですが檀家をやめていただき、納骨堂は返却してご遺骨はご家庭にお返ししなければなりません。

納骨堂の納骨壇は当寺の所有です。納骨ができるのは当寺の通夜葬儀を通じてお釈迦様のお弟子さんとして葬送された方です。

また、他寺檀家のご遺骨であっても納骨をお受けする場合があります。その家に後継者がおらず親族間の話し合いで当寺の檀家様が遺骨をお守りされることになった場合など、様々な事情に対応しているのでご相談ください。

遠方で亡くなった場合の通夜葬儀は

十勝管外で亡くなられた場合は申し訳ありませんが当寺も通夜葬儀にお伺いすることが出来かねます。葬儀のしかたや納骨堂への納骨は当寺にご相談ください。

お葬式の費用が経済的に難しい場合

1. お布施の金額は相談に応じています

寺院維持のためにお願いしたい金額はありますがご相談に応じております。

2. お金がかからない戒名があります

テレビやネットでは戒名というと数十万円～数百万円かかるという話もありますが「〇〇〇〇信士」「〇〇〇〇信女」は無償で授与させていただいております。

3. 自宅での通夜葬儀も可能です

式場と比べてご遺族の準備が大変かもしれませんが当寺としては問題なくお勤めできます。こちらは葬儀社様にご相談ください。

4. 一日葬ではなくお通夜から

お通夜はお釈迦様の弟子となる儀式を行います。また故人と一夜を過ごし、親族どうしが思い出を語り合うことで悲しみを和らげるお勤めです。お布施がいくらであっても枕経、お通夜、お葬式、忌中引きとお勤めさせていただいております。

重要

青松殿申し込み開始

新規のご利用を検討されている方の申し込みを本日（このおたよりが届いた日）より開始します。到着日に地域差があったと思われませんがどうかご容赦ください。
今回のおたよりをよくご確認ください。

大心堂の納骨壇はそのまま青松殿に移す予定です。既に大心堂の納骨壇を利用しており青松殿でもそのまま利用したい方は申し込まないようご注意ください。

位置の要望のしかた

以前に納骨堂を建てた際は位置を決める申し込み会を開催して先着順でお好きな位置を選んでいただきました。この時は前日の夜から並んで順番を確保した方がいらっしやいました。今思うと**遠方にお住まいの方やお仕事を**

持ちの方に並んでいただくよう求めるのは不公平に感じます。よって今回は**申し込み会を行わず、当寺が位置決めをします。**

青松殿には大心堂の納骨壇をまず並べます（並べ方は昨年のお盆号に図を載せています）。その後で今回申し込みの新規の納骨壇を並べます。ですので本尊様の近くには優先的に大心堂の納骨壇が並ぶことが決まっています。

このため、「本尊様の近く」というご要望はお応えできませんが、**入り口の近く、流しの近くがいいといったご要望はできるかぎり対応します。申し込み用紙の一番下のところに記入欄を用意したのでご希望に○をおつけください。**

位置を決める際は「位置のご希望」と**「お申し込みの早さ」**も参考にします。一階、二階の順に割り振ります。一階をご希望の方は**すぐにお申し込みください。**

年会費のコンビニ払い断念しました

システムの運用費が高額のため断念しました。

お布施のネット送金要望が多ければ

お布施を送金するから読経して欲しいという方のために口座のネットバンキング化を検討していました。しかし、現状ではネットバンキングの法人向け使用料よりもお布施の収入が少ないのでほとんど需要がないと捉えています。

お寺の行事

三月二十日一時 お彼岸中日法要
四月七日一時 花祭り・大般若



大般若祈禱会はお経の力で邪を払い、さまざまに願いをします。お札を差上げます。

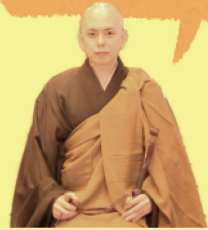
春彼岸の中日である三月二十日は午後一時から先祖供養の法要を行います。短い法話と茶話会の用意があります。ご自由にお参りください。
四月七日は午後一時から花祭り・大般若祈禱会（きとうえ）を行います。お釈迦様の誕生を祝う法要が花祭りです。皆様の手でお釈迦様の像に甘茶かけをしていただきます。

建設の支援（ご寄付）は自由です

建設を支援する寄付のお願い状を今後お送りする予定です。この寄付はあくまで自由であり、金額の請求は一切ありません。**納骨堂の利用恩金（利用にかかる費用）と自由な意思で行うご寄付を混同しないようご注意ください。**

寄付をしなれば青松殿を使わせてもらえないということはありません。既に大心堂をご利用されている方はそのまま青松殿に移ることができません。建設の支援をしてくださる方だけに有志のご寄付をお願いするものです。

新規の利用を申し込む方はその分のお金がかかります。寄付はご自由です。可能の方はご支援いただけましたら大変助かります。



令和6年のご法事

一周忌	令和五年
三回忌	令和四年
七回忌	平成三十年
十三回忌	平成二十四年
十七回忌	平成二十年
二十三回忌	平成十四年
二十七回忌	平成十年
三十三回忌	平成四年
五十回忌	昭和五十年

法事は土日に集中します。無理のない範囲で平日も検討いただくと助かります。あくまでも無理のない範囲でご検討ください。

法事のご予約は
お電話か
ラインでも
大丈夫です



住職が母から
受け継いだ犬の
りきまる（十五）

青松殿 新規申込書

これは昨年ご案内した G・H・J・K 壇の正式な申込書です。

- ・今の納骨壇をそのまま利用する方は提出不要です。破棄してください。
- ・新規利用をご希望の方はご記入後、同封の封筒でお送りください。
- ・新設する数はアンケートを参考にしながら幾分かの余裕をもって用意します。
- ・申し込みは先着順です。
- ・納骨壇の利用恩金（利用にかかる費用）のご入金期間は建設開始から完成して利用を開始するまでの間の予定です。
- ・今後の情勢次第で建設が延期になる可能性があります。
- ・利用恩金（利用にかかる費用）とは別に、建設を支援する寄付のお願い状を今後お送りする予定です。寄付はあくまで自由であり、金額の請求は一切ありません。納骨堂の利用恩金（利用にかかる費用）と自由な意思で行うご寄付を混同しないようご注意ください。

檀家代表者名（亡くなられた方ではなく現在の方のお名前をお書きください）

（氏名 ）

ご住所と電話番号

（住所 ）

（TEL ）

申し込む納骨壇と利用恩金 希望に○をつけてください

現在使用している納骨壇をそのまま利用する方は提出不要です。

G 型（大きな一段 130 万円） H 型（細型の一段 50 万円）

J 型（二段の上 30 万円） K 型（二段の下 20 万円）

場所のご希望に○をつけてください 可能な限りお応えします

玄関の近く・流しの近く・希望なし

青松殿の完成まで

費用負担はありません。新しく納骨壇を申し込む方のみ費用がかかります。引越しの費用負担はゼロですが、ご支援はありがたいからお受けして建築基金に入金します。

	2023年	2024年	2025年
永祥寺の作業	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 木造壇の整理を進める <input checked="" type="checkbox"/> 青松殿の納骨壇の配置図を作つて永祥寺だより夏号で提示する <input checked="" type="checkbox"/> 建設委員会を発足する <input checked="" type="checkbox"/> 費用の高騰を受け、青松殿の新規増設数を見直す（縮小する） 	<ul style="list-style-type: none"> • 永祥寺だより春号で新しい納骨壇の予約開始 • 夏に寄付のお願いを発送 	<ul style="list-style-type: none"> • 中身を持ち帰っていただいている納骨壇から青松殿に移設 • 全ての移設が終わり大心堂を解体する。空き地は駐車場にする。
檀家様の作業	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 建設アンケート提出 <input checked="" type="checkbox"/> 建設実行委員会に責任役員と総代が参加する 	<ul style="list-style-type: none"> • 納骨壇を新しく利用する方は申込書を提出 • 納骨壇を利用している方は提出書類無し・費用無し • 建設委員会は資金計画と指名競争入札の実施 • 総代会が建設か延期を最終決定 	<ul style="list-style-type: none"> • 建設が始まったら遺骨位牌、中身を全て（花瓶や線香立ても全部。引き出しの中の備品も）自宅に持ち帰り、青松殿への移設が終わるまで保管してください • 納骨壇の移設が終わり次第戻してください
青松殿	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> アンケートの結果待ち 	<ul style="list-style-type: none"> • 納骨壇の増設数が決まり、設計が確定する 	<ul style="list-style-type: none"> • 2025年中に完成

費用負担は無し・ご支援はありがたいお受けします